

# 子ども・子育て支援に関するアンケート調査 稲沢市子育て世帯生活実態調査結果報告書（概要版）

## 1 調査の概要

### （1）調査の目的

「第3期稲沢市子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）」の策定を進めるにあたり、子育て世帯の支援ニーズや生活実態を把握し、計画策定の基礎資料とさせていただくため、調査を実施しました。

### （2）調査の対象と実施方法

- 調査対象：稲沢市在住の小学生
- 調査期間：令和6年4月1日～令和6年4月24日
- 調査方法：郵送配布・回収、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数		回収率
350 票	149 票		42.6%
	WEB	紙	
	82 票	67 票	

- 調査対象：稲沢市在住の中学生
- 調査期間：令和6年4月1日～令和6年4月24日
- 調査方法：郵送配布・回収、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数		回収率
350 票	135 票		38.6%
	WEB	紙	
	77 票	58 票	

- 調査対象：稲沢市在住の小学生または中学生の保護者
- 調査期間：令和6年4月1日～令和6年4月24日
- 調査方法：郵送配布・回収、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数		回収率
700 票	300 票		42.9%
	WEB	紙	
	172 票	128 票	

### (3) 調査報告書の見方

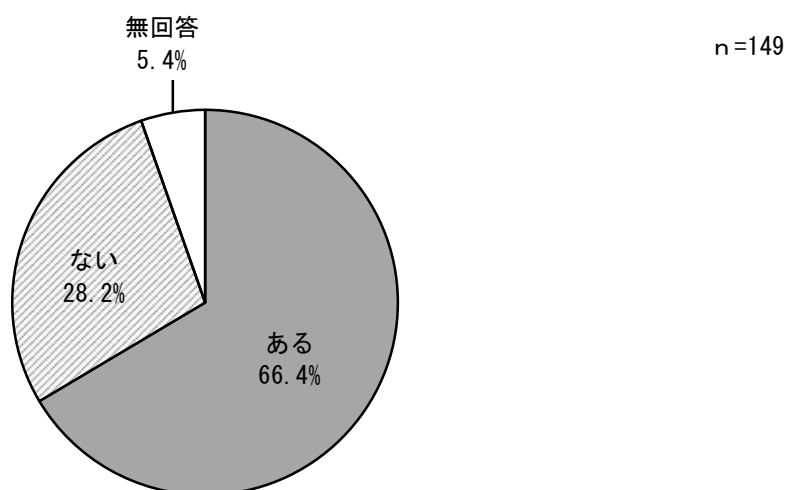
百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出しています。本文及び図中の数字に関しては、全て小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表記します。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。

## 2 調査の結果概要（小学生）

### （1）あなたの「夢」について

#### ○将来の夢

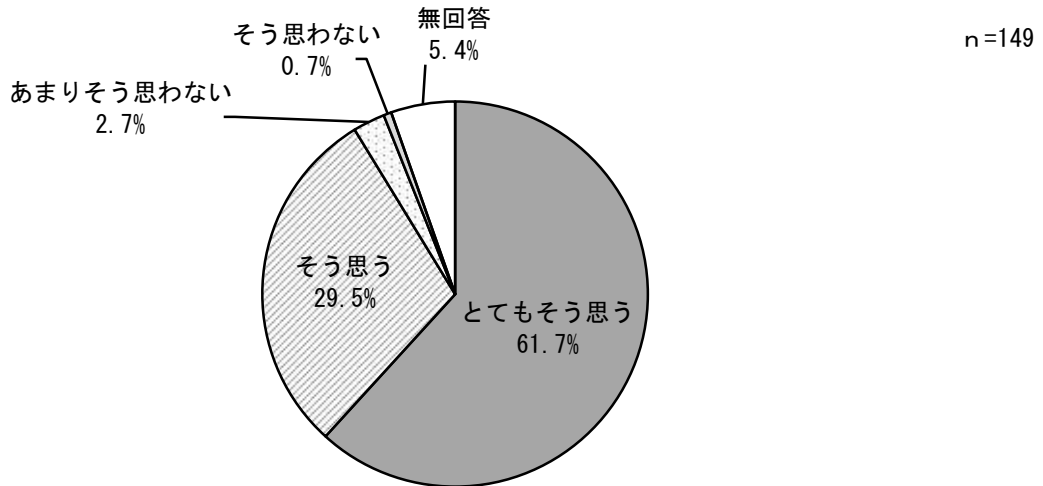
将来の夢は、「ある」が66.4%、「ない」が28.2%となっています。



## (2) 友だちのことについて

### ○友だちと仲よくしているか

友だちと仲よくしているかは、「とてもそう思う」が61.7%と最も高く、次いで「そう思う」が29.5%、「あまりそう思わない」が2.7%となっています。



### 【友だちと仲よくしているか（将来の夢別）】

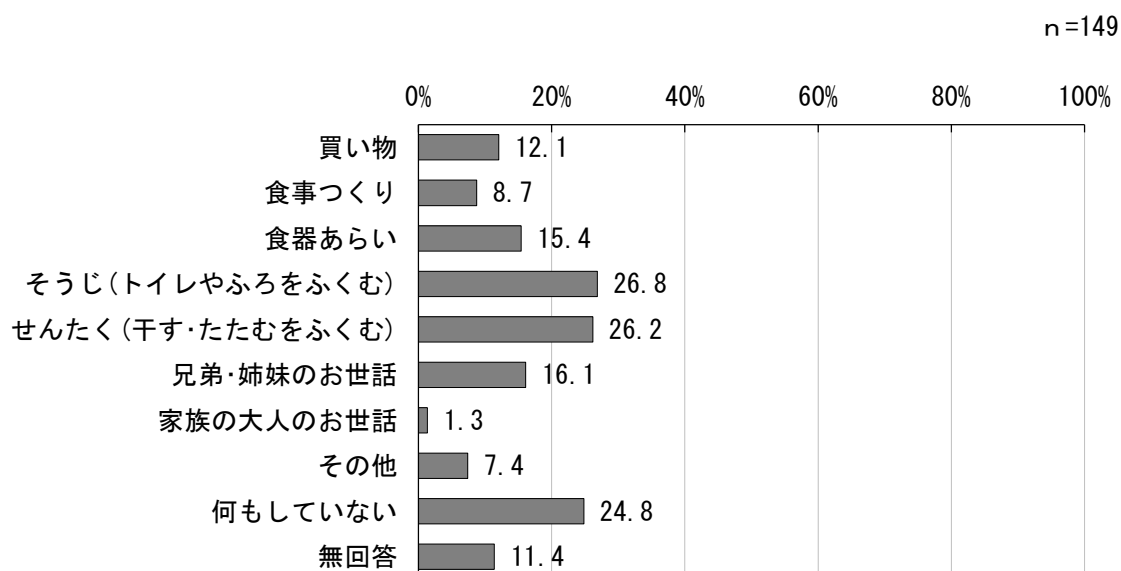
友だちと仲よくしているかを将来の夢別にみると、どちらも「とてもそう思う」が最も高くなっていますが、「ある」が67.7%であるのに対して、「ない」は59.5%と8.2ポイント下回っています。また、どちらも「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』を上回っています。

		合計	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
	全体	149	61.7%	29.5%	2.7%	0.7%	5.4%
将来の夢	ある	99	67.7%	31.3%	1.0%	0.0%	0.0%
	ない	42	59.5%	31.0%	7.1%	2.4%	0.0%

### (3) ふだんの生活について

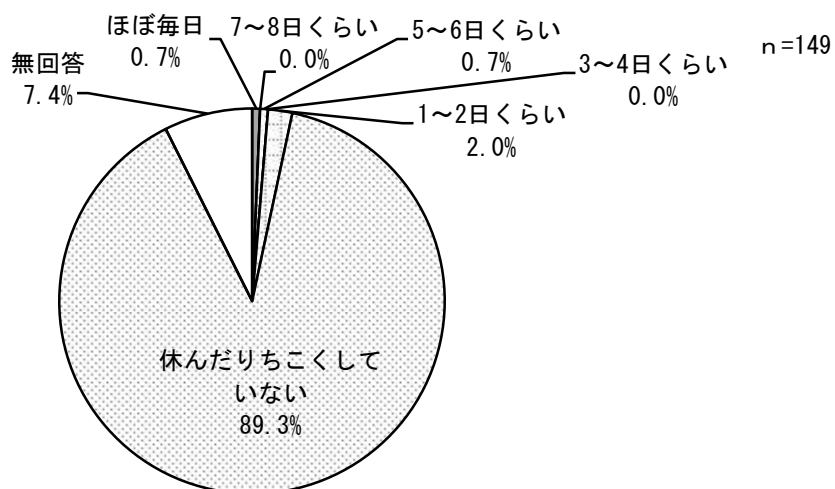
#### ○日常的に行っている手伝いやだれかの世話

日常的に行っている手伝いやだれかの世話は、「そうじ（トイレやふろをふくむ）」が26.8%と最も高く、次いで「せんたく（干す・たたむをふくむ）」が26.2%、「何もしていない」が24.8%となっています。



#### ○家の手伝いやだれかの世話で学校を休んだり遅刻したことの有無

家の手伝いやだれかの世話で学校を休んだり遅刻したことの有無は、「休んだりちこくしていない」が89.3%と最も高く、次いで「1～2日くらい」が2.0%、「ほぼ毎日」、「5～6日くらい」がそれぞれ0.7%となっています。

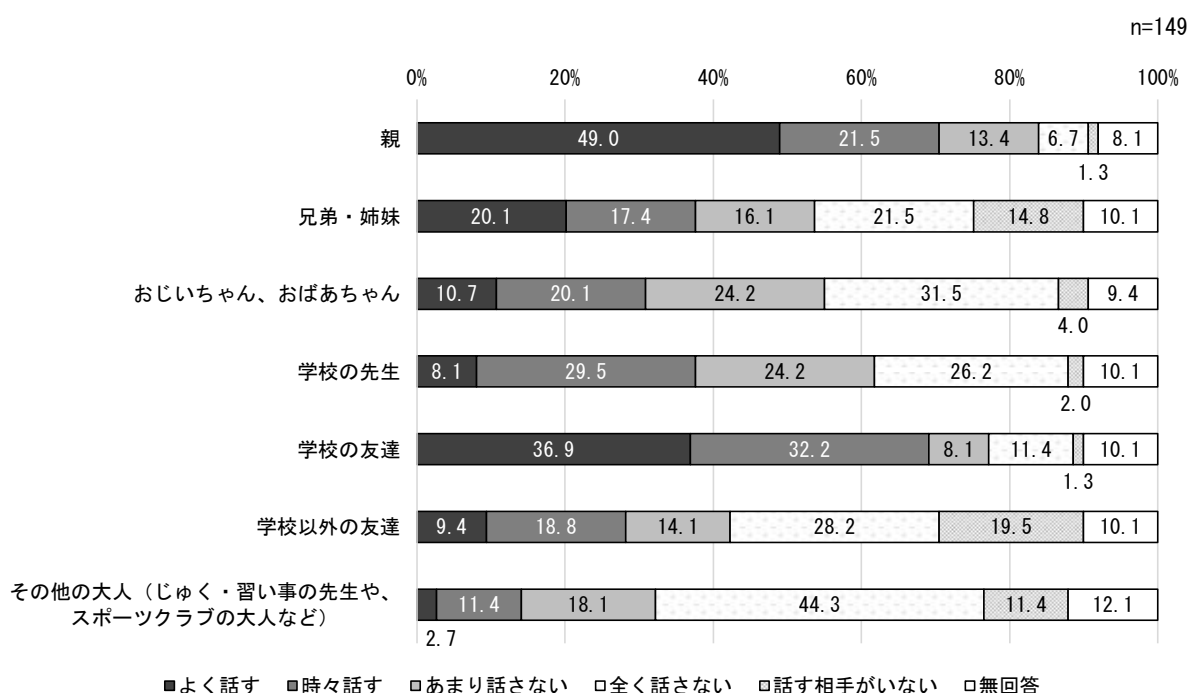


○普段話す相手

普段話す相手は、「よく話す」としては、「親」が 49.0%と最も高く、次いで「学校の友達」が 36.9%、「兄弟・姉妹」が 20.1%となっています。

「全く話さない」としては、「その他の大人（じゅく・習い事の先生や、スポーツクラブの大人など）」が 44.3%と最も高く、次いで「おじいちゃん、おばあちゃん」が 31.5%、「学校以外の友達」が 28.2%となっています。

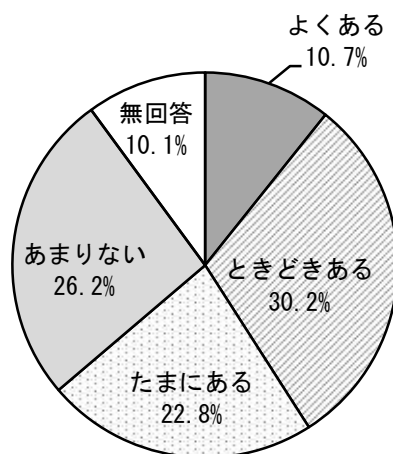
「話す相手がない」としては、「学校以外の友達」が 19.5%と最も高く、次いで「兄弟・姉妹」が 14.8%、「その他の大人（じゅく・習い事の先生や、スポーツクラブの大人など）」が 11.4%となっています。



#### (4) 学校の生活について

##### ○学校の授業でわからないことの有無

学校の授業でわからないことの有無は、「ときどきある」が30.2%と最も高く、次いで「あまりない」が26.2%、「たまにある」が22.8%となっています。



##### 【学校の授業でわからないことの有無（性別・将来の夢別）】

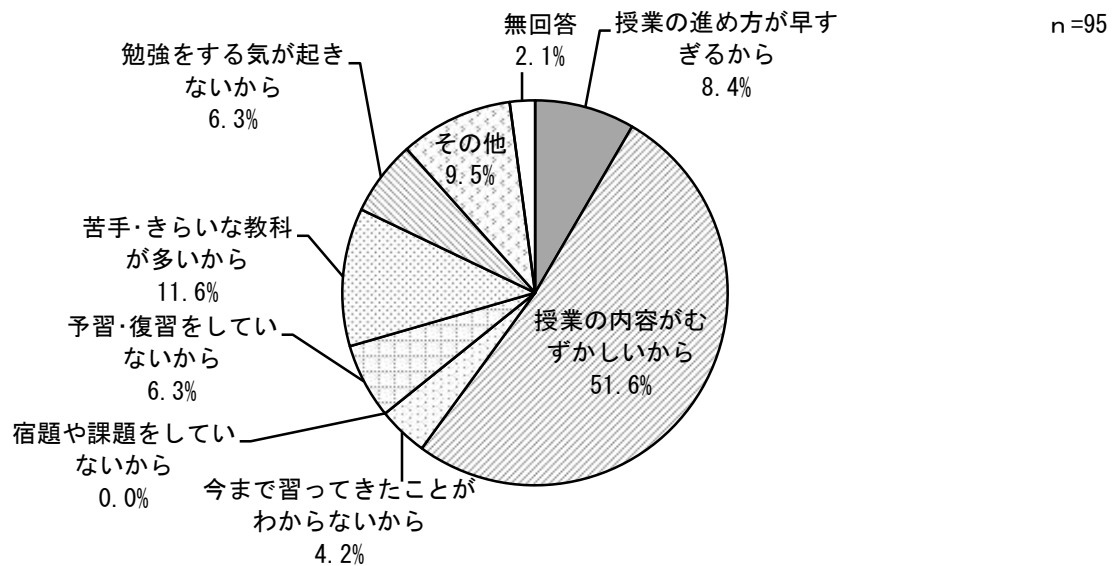
学校の授業でわからないことの有無を性別にみると、「男子」では「たまにある」が最も高くなっているのに対して、「女子」では「ときどきある」、「その他」（母数3人）では「よくある」、「ときどきある」、「あまりない」がそれぞれ最も高くなっています。

将来の夢別にみると、「ある」では「ときどきある」が最も高くなっているのに対して、「ない」では「あまりない」が最も高くなっています。また、「あまりない」では「ある」が25.3%であるのに対して、「ない」では33.3%と8.0ポイント上回っています。

		合計	よくある	ときどきある	たまにある	あまりない	無回答
全体		149	10.7%	30.2%	22.8%	26.2%	10.1%
性別	男子	58	6.9%	24.1%	31.0%	29.3%	8.6%
	女子	82	13.4%	36.6%	19.5%	25.6%	4.9%
	その他	3	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
将来の夢	ある	99	11.1%	32.3%	27.3%	25.3%	4.0%
	ない	42	11.9%	31.0%	16.7%	33.3%	7.1%

### ○わからない一番の理由

わからない一番の理由は、「授業の内容がむずかしいから」が51.6%と最も高く、次いで「苦手・きれいな教科が多いから」が11.6%、「授業の進め方が早すぎるから」が8.4%となっています。



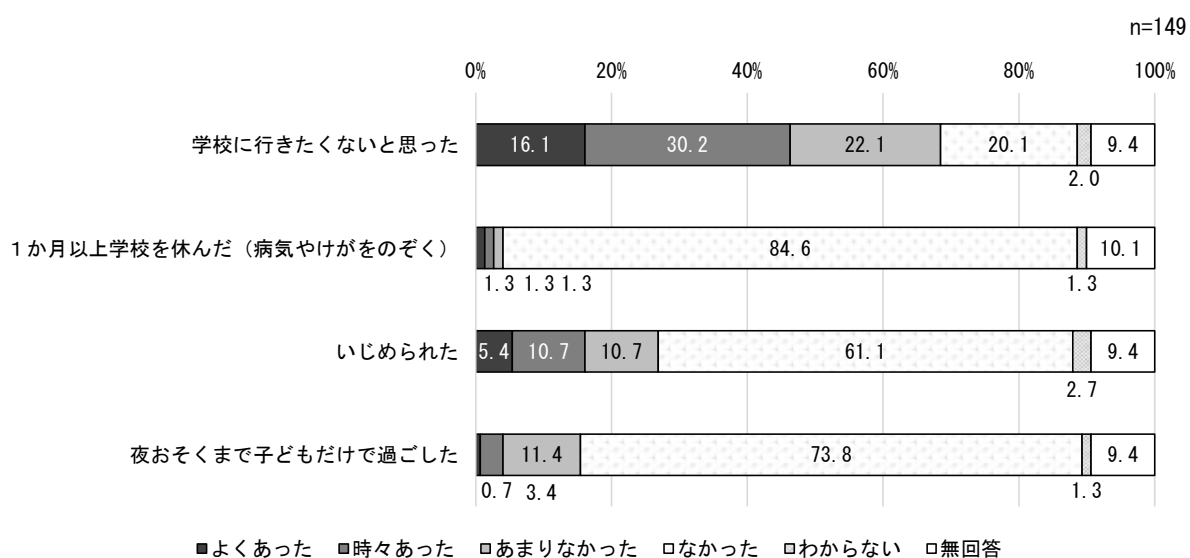


## (5) ふだん考えていることについて

### ○過去の経験

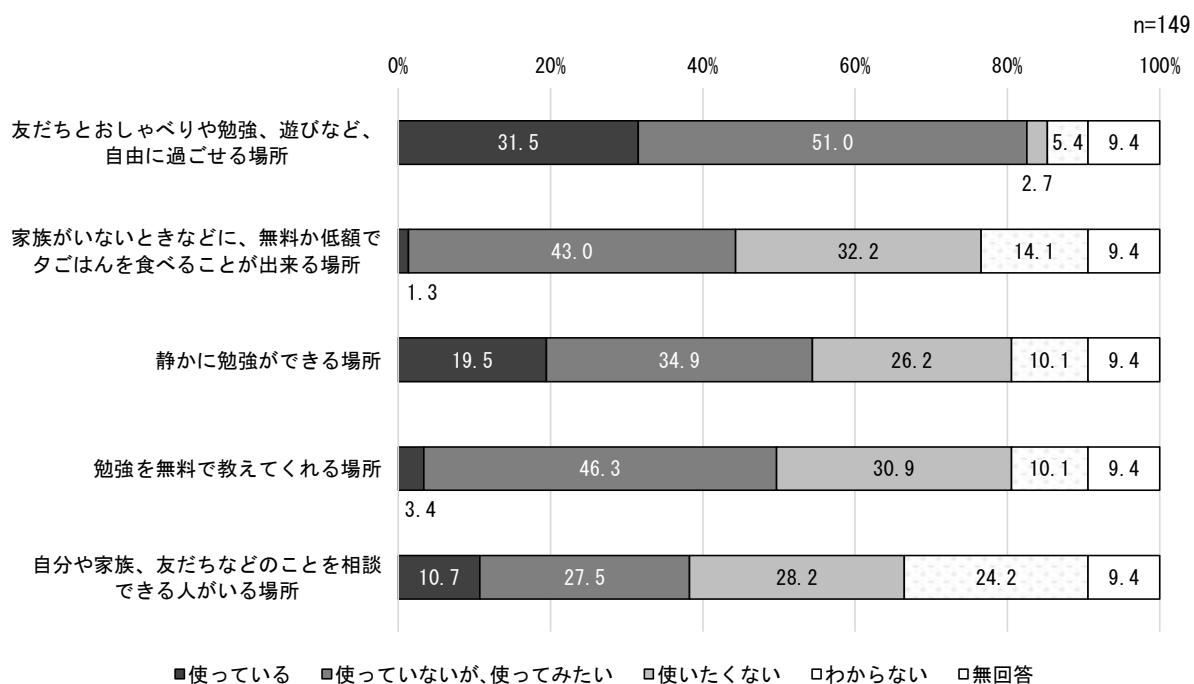
過去の経験は、「よくあった」としては、「学校に行きたくないと思った」が16.1%と最も高く、次いで「いじめられた」が5.4%、「1か月以上学校を休んだ（病気やけがをのぞく）」が1.3%となっています。

「なかった」としては、「1か月以上学校を休んだ（病気やけがをのぞく）」が84.6%と最も高く、次いで「夜おそくまで子どもだけで過ごした」が73.8%、「いじめられた」が61.1%となっています。



## ○使ってみたい場所

使ってみたい場所は、「使っている」としては、「友だちとおしゃべりや勉強、遊びなど、自由に過ごせる場所」が31.5%と最も高く、次いで「静かに勉強ができる場所」が19.5%、「自分や家族、友だちなどのことを相談できる人がいる場所」が10.7%となっています。「使いたくない」としては、「家族がいないときなどに、無料か低額で夕ごはんを食べることが出来る場所」が32.2%と最も高く、次いで「勉強を無料で教えてくれる場所」が30.9%、「自分や家族、友だちなどのことを相談できる人がいる場所」が28.2%となっています。

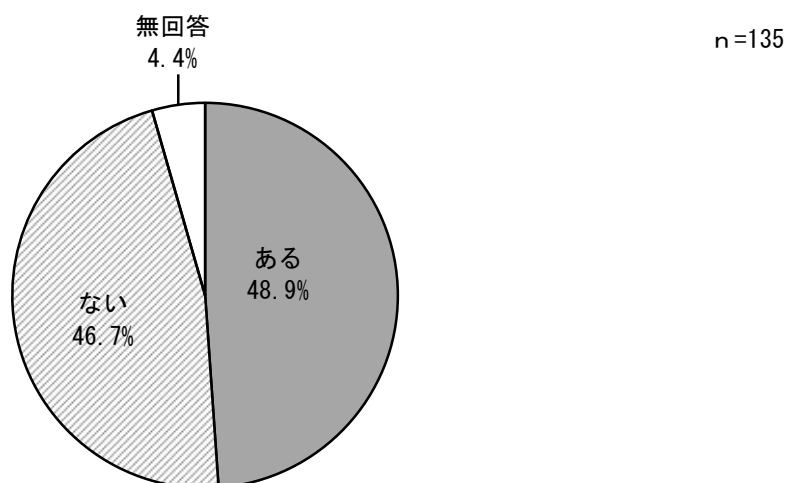


### 3 調査の結果概要（中学生）

#### （1）あなたの「夢」について

##### ○将来の夢

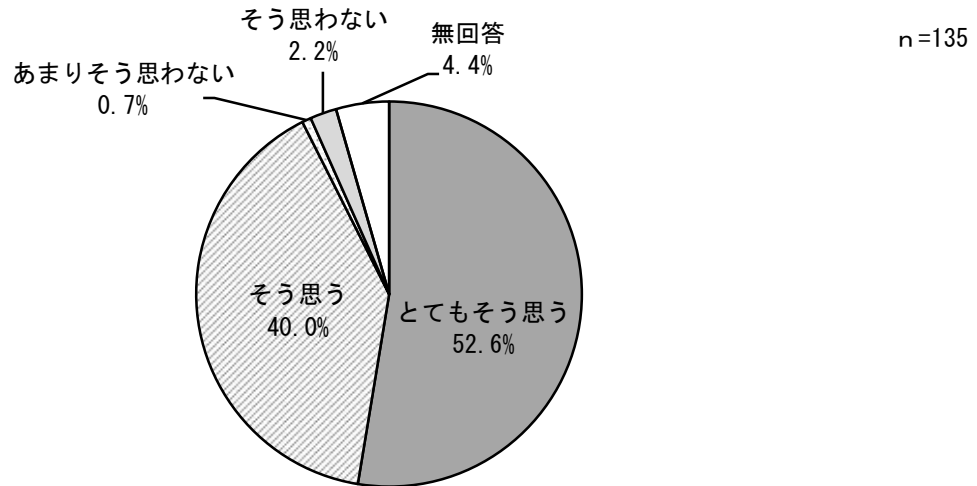
将来の夢は、「ある」が48.9%、「ない」が46.7%となっています。



## (2) 友だちのことについて

### ○友だちと仲よくしているか

友だちと仲よくしているかは、「とてもそう思う」が52.6%と最も高く、次いで「そう思う」が40.0%、「そう思わない」が2.2%となっています。



### 【友だちと仲よくしているか (将来の夢別)】

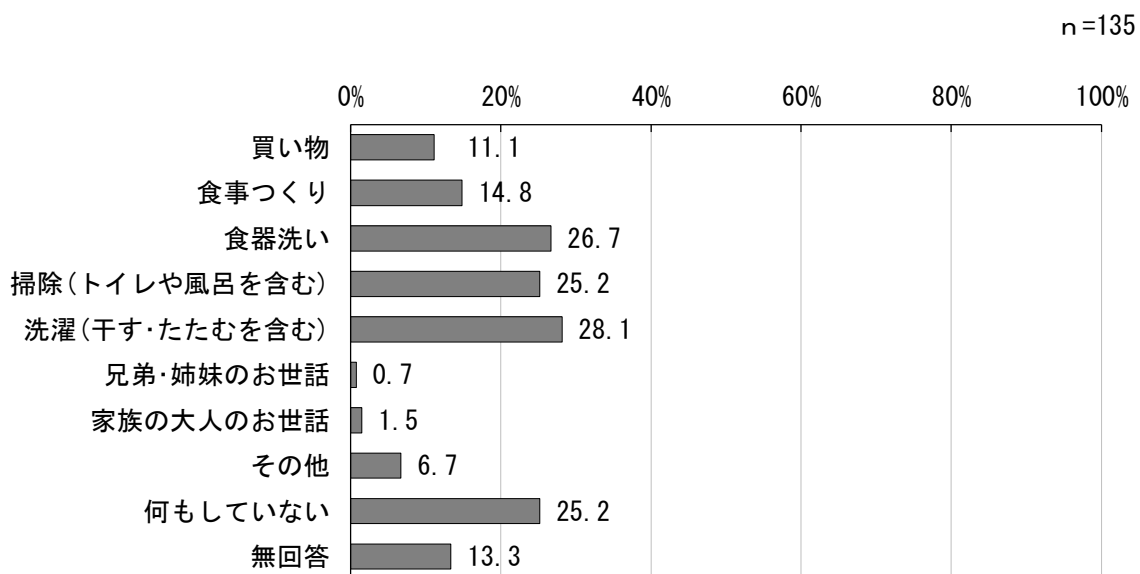
友だちと仲よくしているかを将来の夢別にみると、「ある」では「とてもそう思う」が最も高くなっているのに対して、「ない」では「そう思う」が最も高くなっています。また、どちらも「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』を上回っています。また、「とてもそう思う」では、「ない」が42.9%であるのに対して、「ある」では66.7%と23.8ポイント上回っています。

		合計	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
	全体	135	52.6%	40.0%	0.7%	2.2%	4.4%
将来の夢	ある	66	66.7%	30.3%	0.0%	3.0%	0.0%
	ない	63	42.9%	52.4%	1.6%	1.6%	1.6%

### (3) ふだんの生活について

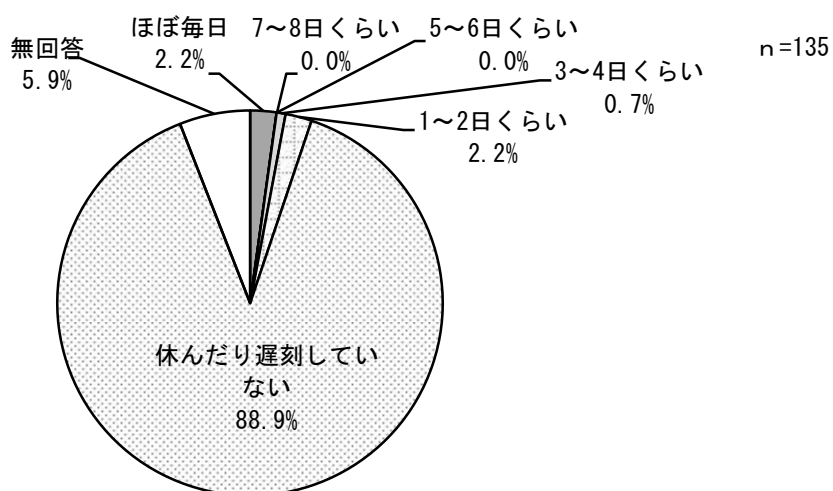
#### ○日常的に行っている手伝いやだれかの世話

日常的に行っている手伝いやだれかの世話は、「洗濯（干す・たたむを含む）」が28.1%と最も高く、次いで「食器洗い」が26.7%、「掃除（トイレや風呂を含む）」、「何もしていない」がそれぞれ25.2%となっています。



#### ○家の手伝いやだれかの世話で学校を休んだり遅刻したことの有無

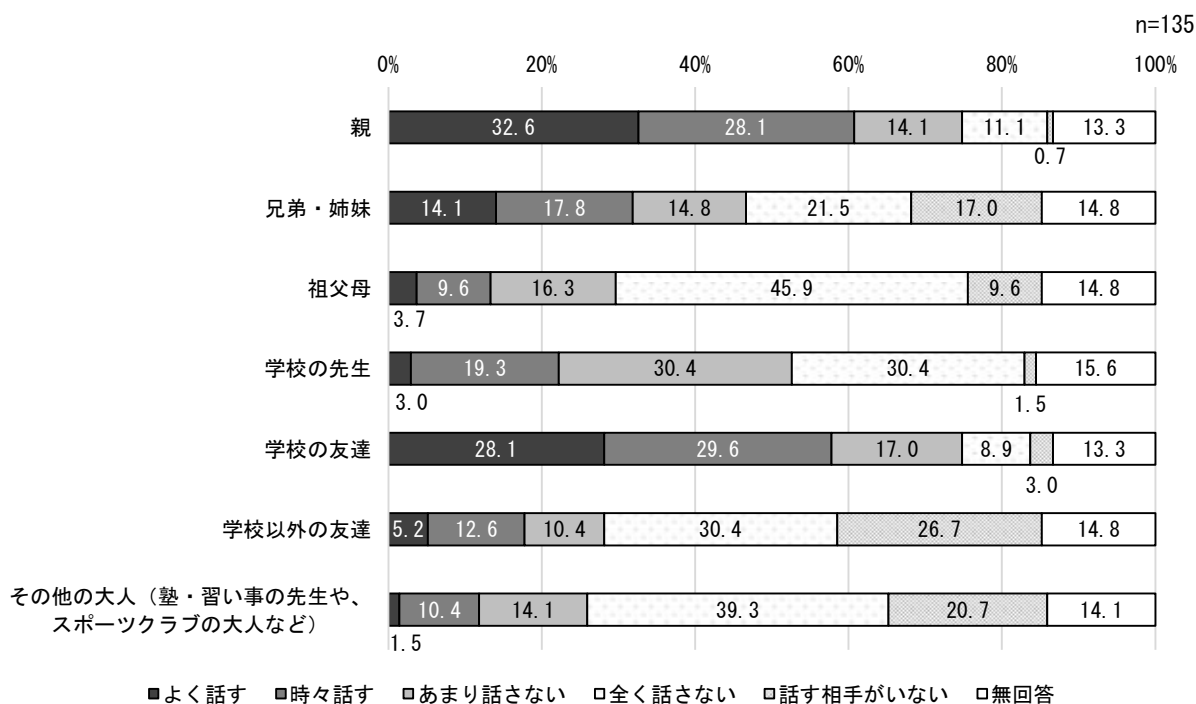
家の手伝いやだれかの世話で学校を休んだり遅刻したことの有無は、「休んだり遅刻していない」が88.9%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」、「1～2日くらい」がそれぞれ2.2%となっています。



○普段話す相手

普段話す相手は、「よく話す」としては、「親」が 32.6%と最も高く、次いで「学校の友達」が 28.1%、「兄弟・姉妹」が 14.1%となっています。

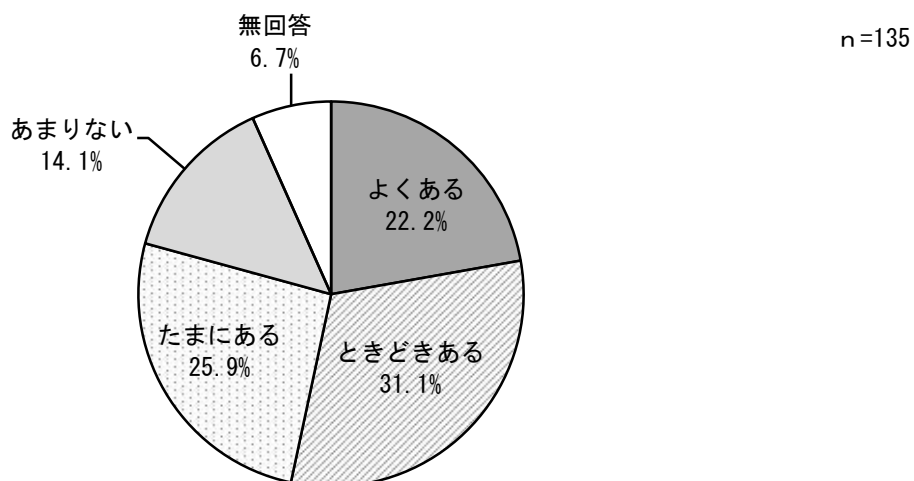
「全く話さない」としては、「祖父母」が 45.9%と最も高く、次いで「その他の大人（塾・習い事の先生や、スポーツクラブの大人など）」が 39.3%、「学校の先生」、「学校以外の友達」がそれぞれ 30.4%となっています。



#### (4) 学校の生活について

##### ○学校の授業でわからないことの有無

学校の授業でわからないことの有無は、「ときどきある」が31.1%と最も高く、次いで「たまにある」が25.9%、「よくある」が22.2%となっています。



##### 【学校の授業でわからないことの有無（性別・将来の夢別）】

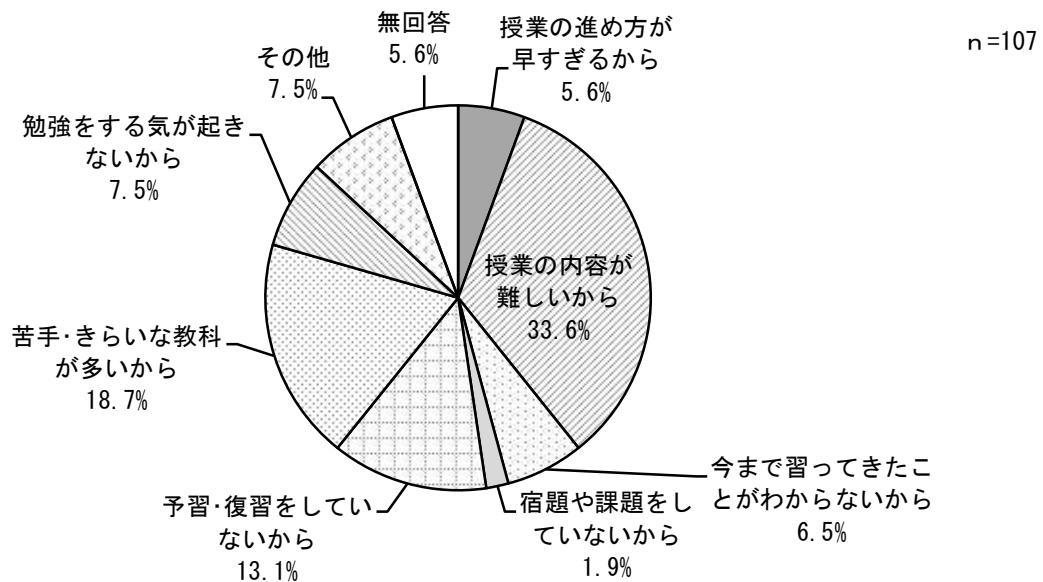
学校の授業でわからないことの有無を性別にみると、「よくある」としては、「女子」が17.7%であるのに対して、「男子」は26.5%と8.8ポイント上回っています。また、「その他」（母数3人）は33.3%となっています。

将来の夢別にみると、「ある」では「たまにある」が最も高くなっているのに対して、「ない」では「ときどきある」が最も高くなっています。また、「よくある」としては、「ない」が17.5%であるのに対して、「ある」は28.8%と11.3ポイント上回っています。

		合計	よくある	ときどきある	たまにある	あまりない	無回答
全体		135	22.2%	31.1%	25.9%	14.1%	6.7%
性別	男子	68	26.5%	32.4%	27.9%	11.8%	1.5%
	女子	62	17.7%	29.0%	25.8%	17.7%	9.7%
	その他	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
将来の夢	ある	66	28.8%	24.2%	34.8%	9.1%	3.0%
	ない	63	17.5%	39.7%	19.0%	20.6%	3.2%

### ○わからない一番の理由

わからない一番の理由は、「授業の内容が難しいから」が33.6%と最も高く、次いで「苦手・きれいな教科が多いから」が18.7%、「予習・復習をしていないから」が13.1%となっています。



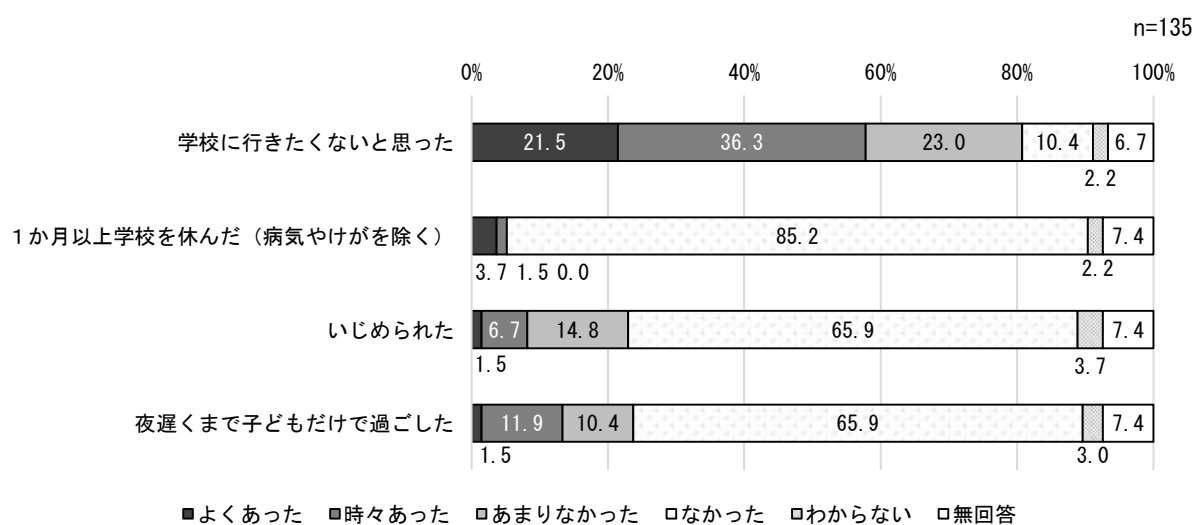


## (5) ふだん考えていることについて

### ○過去の経験

過去の経験は、「よくあった」としては、「学校に行きたくないと思った」が21.5%と最も高く、次いで「1か月以上学校を休んだ（病気やけがを除く）」が3.7%、「いじめられた」、「夜遅くまで子どもだけで過ごした」がそれぞれ1.5%となっています。

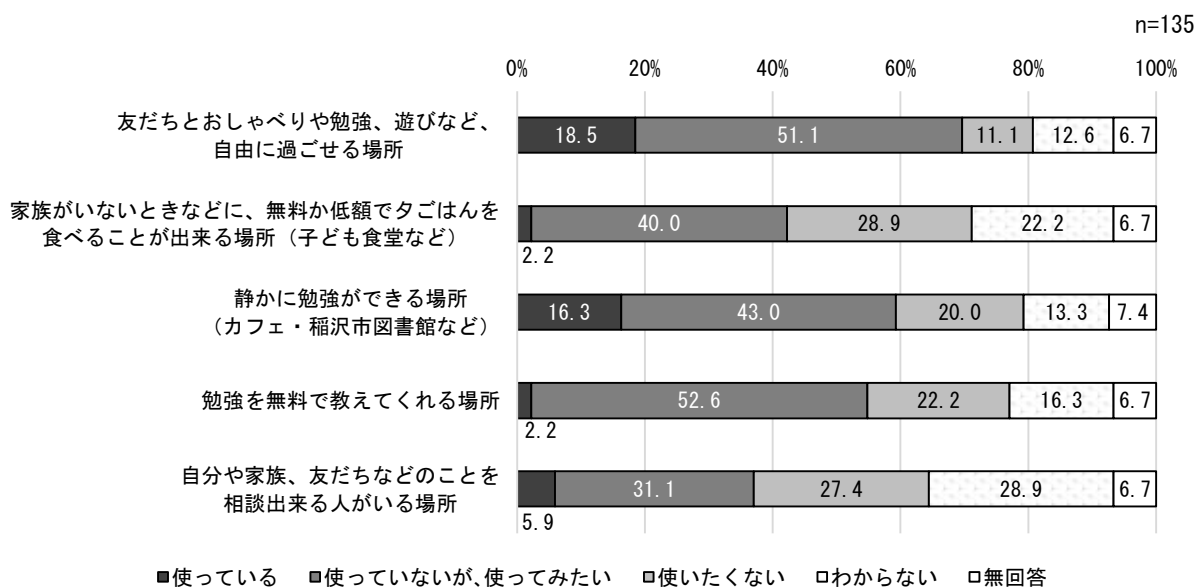
「なかった」としては、「1か月以上学校を休んだ（病気やけがを除く）」が85.2%と最も高く、次いで「いじめられた」、「夜遅くまで子どもだけで過ごした」がそれぞれ65.9%となっています。



## ○使ってみたい場所

使ってみたい場所は、「使っている」としては、「友だちとおしゃべりや勉強、遊びなど、自由に過ごせる場所」が18.5%と最も高く、次いで「静かに勉強ができる場所（カフェ・稲沢市図書館など）」が16.3%、「自分や家族、友だちなどのことを相談出来る人がいる場所」が5.9%となっています。

「使いたくない」としては、「家族がいないときなどに、無料か低額で夕ごはんを食べることが出来る場所（子ども食堂など）」が28.9%と最も高く、次いで「自分や家族、友だちなどのことを相談出来る人がいる場所」が27.4%、「勉強を無料で教えてくれる場所」が22.2%となっています。

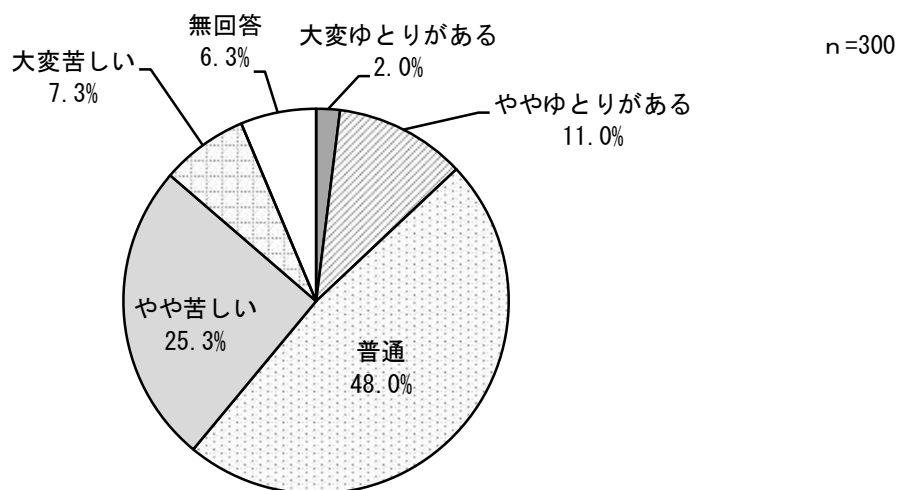


## 4 調査の結果概要（小中学生の保護者）

### （1）あなたのご家庭での生活について

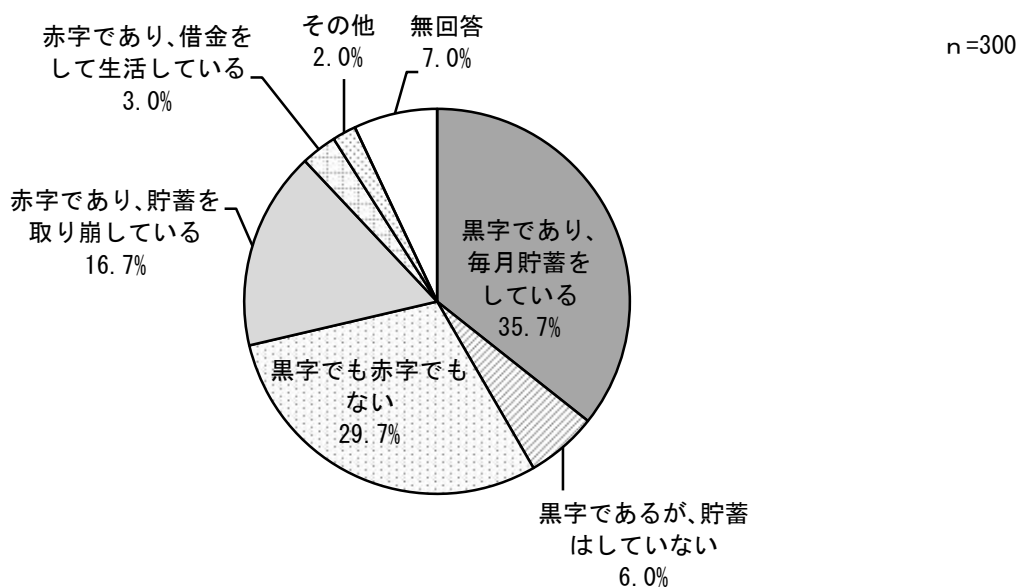
#### ○現在の暮らしの状況

現在の暮らしの状況は、「普通」が48.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」が25.3%、「ややゆとりがある」が11.0%となっています。



#### ○家計の状況

家計の状況は、「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が35.7%と最も高く、次いで「黒字でも赤字でもない」が29.7%、「赤字であり、貯蓄を取り崩している」が16.7%となっています。



【家計の状況（年齢別・暮らしの状況別）】

家計の状況を年齢別にみると、回答者のいない「20～24歳」、「25～29歳」を除いたほとんどの年齢で「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が最も高くなっている一方、「20歳未満」（母数2人）では「黒字でも赤字でもない」が最も高くなっています。また、「30～34歳」（母数2人）では「黒字であり、毎月貯蓄をしている」と並び「黒字でも赤字でもない」、「60歳以上」（母数3人）では「黒字であり、毎月貯蓄をしている」と並び「赤字であり、借金をして生活している」も最も高くなっています。

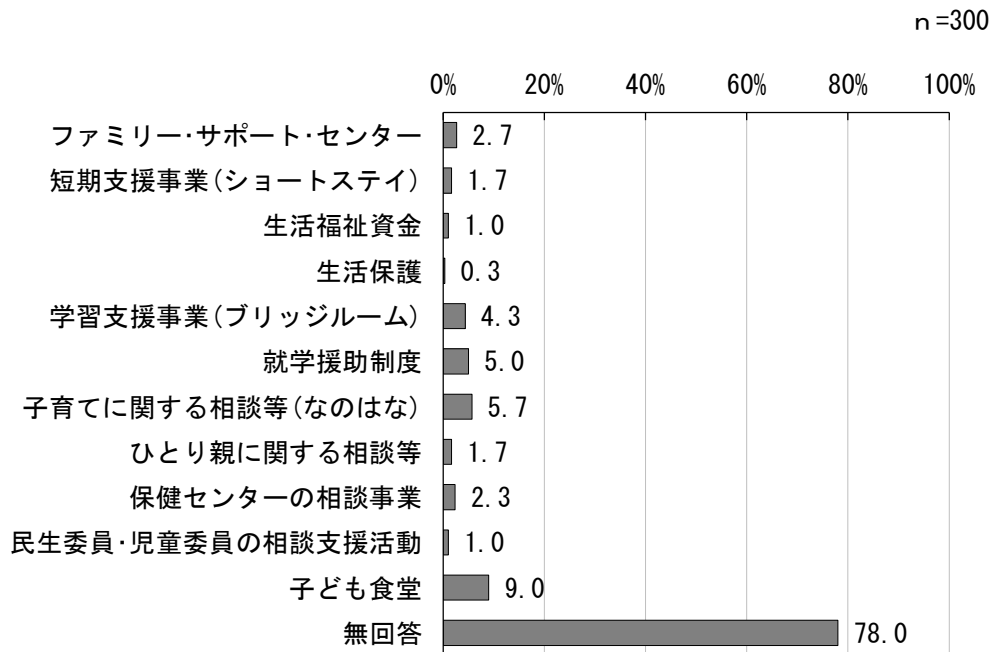
暮らしの状況別にみると、「大変ゆとりがある」、「ややゆとりがある」、「普通」では「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が最も高くなっているのに対して、「やや苦しい」、「大変苦しい」では「赤字であり、貯蓄を取り崩している」が最も高くなっています。

		合計	黒字であり、毎月貯蓄をしている	黒字であるが、貯蓄はしていない	黒字でも赤字でもない	赤字であり、貯蓄を取り崩している
全体		300	35.7%	6.0%	29.7%	16.7%
年齢	20歳未満	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	20～24歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	25～29歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～34歳	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	35～39歳	22	31.8%	4.5%	27.3%	18.2%
	40～44歳	85	38.8%	8.2%	35.3%	15.3%
	45～49歳	96	34.4%	6.3%	31.3%	16.7%
	50～54歳	72	40.3%	4.2%	26.4%	19.4%
	55～59歳	7	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%
60歳以上	3	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	
暮らしの状況	大変ゆとりがある	6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ややゆとりがある	33	87.9%	6.1%	3.0%	3.0%
	普通	144	45.8%	7.6%	38.9%	4.2%
	やや苦しい	76	6.6%	6.6%	38.2%	39.5%
	大変苦しい	22	4.5%	0.0%	13.6%	59.1%
		合計	赤字であり、借金をして生活している	その他	無回答	
全体		300	3.0%	2.0%	7.0%	
年齢	20歳未満	2	0.0%	0.0%	0.0%	
	20～24歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	
	25～29歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	
	30～34歳	2	0.0%	0.0%	0.0%	
	35～39歳	22	13.6%	4.5%	0.0%	
	40～44歳	85	0.0%	0.0%	2.4%	
	45～49歳	96	5.2%	2.1%	4.2%	
	50～54歳	72	0.0%	4.2%	5.6%	
	55～59歳	7	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳以上	3	33.3%	0.0%	0.0%		
暮らしの状況	大変ゆとりがある	6	0.0%	0.0%	0.0%	
	ややゆとりがある	33	0.0%	0.0%	0.0%	
	普通	144	0.0%	2.8%	0.7%	
	やや苦しい	76	5.3%	2.6%	1.3%	
	大変苦しい	22	22.7%	0.0%	0.0%	

## (2) お子さんの保護者の方のこれまでのご経験について

### ○利用してみたいと思う支援制度等の有無

利用してみたいと思う支援制度等の有無は、「子ども食堂」が 9.0%と最も高く、次いで「子育てに関する相談等（なのはな）」が 5.7%、「就学援助制度」が 5.0%となっています。

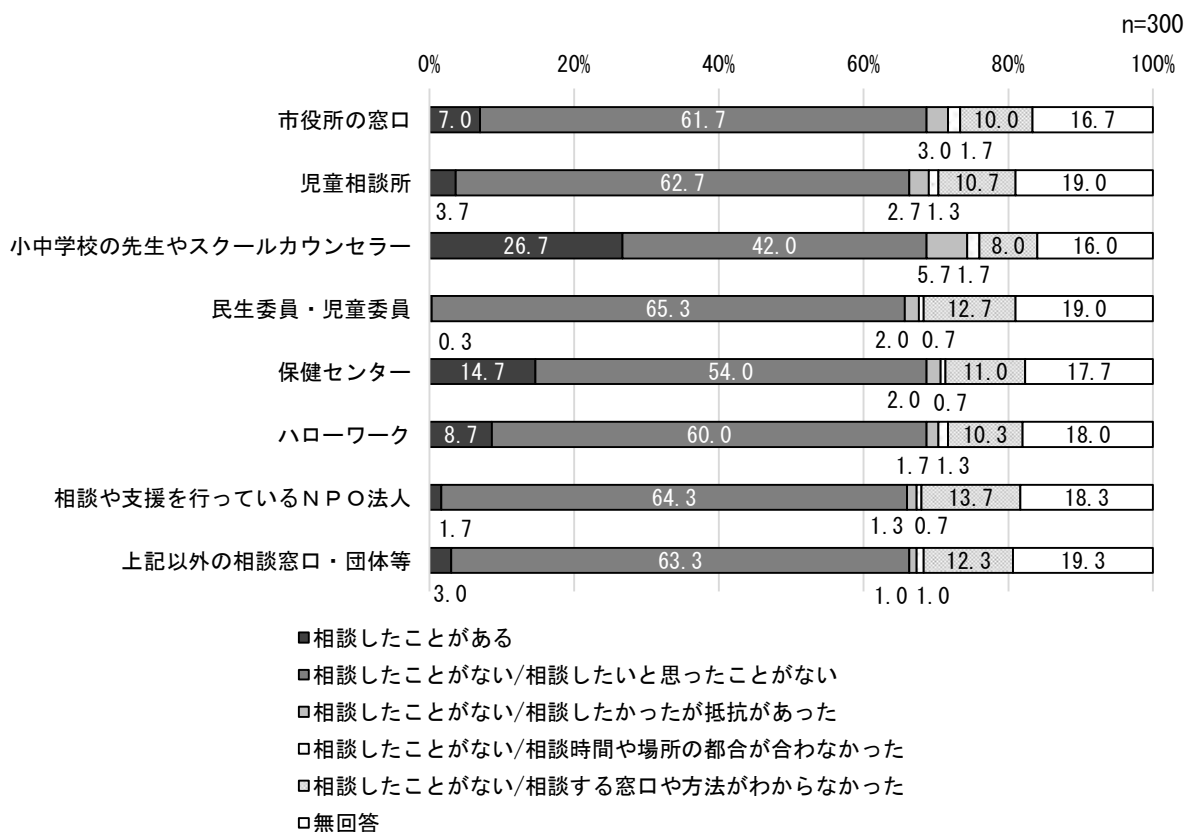


### (3) 公的支援の利用状況について

#### ○子育て関係機関等への相談の有無

子育て関係機関等への相談の有無は、「相談したことがある」としては、「小中学校の先生やスクールカウンセラー」が26.7%と最も高く、次いで「保健センター」が14.7%、「ハローワーク」が8.7%となっています。

「相談したことがない/相談する窓口や方法がわからなかった」としては、「相談や支援を行っているNPO法人」が13.7%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員」が12.7%、「上記以外の相談窓口・団体等」が12.3%となっています。



## 5 アンケート結果からみえる傾向

### ●将来の夢と友だちとの関係

将来の夢は、小学生で「ある」と答えた方が66.4%、「ない」が28.2%であったのに対し、中学生では「ある」が48.9%、「ない」が46.7%となっています。

友だちと仲よくしているかを将来の夢別にみると、小学生ではどちらも「とてもそう思う」が最も高くなっていますが、将来の夢が「ある(67.7%)」に対して、「ない(59.5%)」が8.2ポイント下回っています。一方で、中学生では、将来の夢が「ある」では「とてもそう思う」が最も高くなっているのに対して、将来の夢が「ない」と答えた方では「そう思う」が最も高くなっています。また、「とてもそう思う」では、将来の夢が「ない(42.9%)」に対して、将来の夢が「ある(66.7%)」が23.8ポイント上回っています。

### ●ふだんの生活について

日常的に行っている手伝いやだれかの世話については、小学生及び中学生いずれも「掃除(トイレや風呂を含む)」や「洗濯(干す・たたむを含む)」等が高くなっています。また、小学生では「兄弟・姉妹のお世話(16.1%)」「家族の大人のお世話(1.3%)」であったのに対し、中学生では「兄弟・姉妹のお世話(0.7%)」「家族の大人のお世話(1.5%)」となっています。

家の手伝いやだれかの世話で学校を休んだり遅刻したことの有無は、小学生及び中学生のいずれも「休んだりちこくしていない」が約89%と最も高いものの、小学生では「1～2日くらい(2.0%)」「ほぼ毎日(0.7%)」「5～6日くらい(0.7%)」であるのに対し、中学生では「ほぼ毎日(2.2%)」「1～2日くらい(2.2%)」がいずれも小学生より高くなっています。

また、普段、楽しいことや悲しいこと、困っていることや悩みごとなどを話す相手は、小学生では「よく話す」としては、「親(約49%)」「学校の友達(約37%)」「兄弟・姉妹(約20%)」であるのに対し、中学生では「よく話す」としては、「親(32.6%)」「学校の友達(約28%)」「兄弟・姉妹(約14%)」といずれも小学生よりも低くなっています。さらに、小学生では「全く話さない」としては、「その他の大人(じゅく・習い事の先生や、スポーツクラブの大人など)(約44%)」「おじいちゃん、おばあちゃん(31.5%)」であるのに対し、中学生では「全く話さない」としては、「祖父母(約46%)」「その他の大人(塾・習い事の先生や、スポーツクラブの大人など)(39.3%)」となっています。

### ●学校の授業でわからないことの有無

学校の授業でわからないことの有無は、小学生及び中学生のいずれも「ときどきある」が約30%で最も高く、次いで「あまりない」が約26%、「たまにある」が約22%となっています。

学校の授業でわからないことの有無を性別にみると、小学生の「男子」では「たまにある」が最も高くなっているのに対して、「女子」では「ときどきある」が最も高くなっています。一方、中学生では、「よくある」としては、「女子(17.7%)」に対して、「男子(26.5%)」が8.8ポイント上回っています。

将来の夢別にみると、小学生のうち将来の夢が「ある」と答えた方では「ときどきある」が最



も高くなっているのに対して、将来の夢が「ない」と答えた方では「あまりない」が最も高くなっています。一方、中学生のうち将来の夢が「ある」と答えた方では「たまにある」が最も高くなっているのに対して、将来の夢が「ない」と答えた方では「ときどきある」が最も高くなっています。

### ●ふだん考えていること

過去の経験について「よくあった」としては、小学生及び中学生いずれも「学校に行きたくないと思った」が最も高くなりました。次いで小学生では「いじめられた(5.4%)」「1か月以上学校を休んだ(病気やけがをのぞく)(1.3%)」であったのに対し、中学生では「1か月以上学校を休んだ(病気やけがを除く)(3.7%)」「いじめられた(1.5%)」「夜遅くまで子どもだけで過ごした(1.5%)」となっています。

また、「使いたくない」場所としては、小学生及び中学生いずれも「家族がいないときなどに、無料か低額で夕ごはんを食べることが出来る場所」が約3割で最も高くなりました。次いで小学生では「勉強を無料で教えてくれる場所(約31%)」「自分や家族、友だちなどのことを相談できる人がいる場所(約28%)」であったのに対し、中学生では「自分や家族、友だちなどのことを相談出来る人がいる場所(約27%)」「勉強を無料で教えてくれる場所(約22%)」となっています。

### ●家庭での生活状況

現在の暮らしの状況は、「普通」が約48%と最も高く、次いで「やや苦しい」が約25%、「ややゆとりがある」が約11%となっています。

家計の状況は、「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が35.7%と最も高く、次いで「黒字でも赤字でもない」が29.7%である一方、「赤字であり、貯蓄を取り崩している(16.7%)」と「赤字であり、借金をして生活している(3.0%)」を合わせた赤字家計が約20%となっています。

年齢別にみると、ほとんどの年齢で「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が最も高くなっている一方、「20歳未満」(母数2人)では「黒字でも赤字でもない」が最も高くなっています。また、「30～34歳」(母数2人)では「黒字であり、毎月貯蓄をしている」と並び「黒字でも赤字でもない」、「60歳以上」(母数3人)では「黒字であり、毎月貯蓄をしている」と並び「赤字であり、借金をして生活している」も最も高くなっています。

暮らしの状況別にみると、「大変ゆとりがある」、「ややゆとりがある」、「普通」では「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が最も高くなっているのに対して、「やや苦しい」、「大変苦しい」では「赤字であり、貯蓄を取り崩している」が最も高くなっています。

### ●支援制度の利用意向や公的支援の利用状況

保護者が利用してみたいと思う支援制度等は、「子ども食堂」が9.0%と最も高く、次いで「子育てに関する相談等(なのはな)」が5.7%、「就学援助制度」が5.0%となっています。

また、保護者による子育て関係機関等への相談の有無は、「相談したことがある」としては、「小中学校の先生やスクールカウンセラー(26.7%)」「保健センター(14.7%)」「ハローワーク(8.7%)」となっています。

「相談したことがない／相談する窓口や方法がわからなかった」としては、「相談や支援を行っているNPO法人(13.7%)」「民生委員・児童委員(12.7%)」「上記以外の相談窓口・団体等(12.3%)」となっています。